

# 熊谷不惑俱樂部

創立30周年記念誌



1976-2006

KUMAGAYA FUWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB



熊谷不惑倶楽部 試合ジャージ



ホームグラウンド 荒川ラグビー場

*One For All*  
*All For One*



**Kumagaya Fuwaku Rugby Foot Ball Club**

**1976-2006**

## 熊谷不惑倶楽部創立30周年記念祝賀会



2006年5月6日ホテルガーデンパレス



熊惑 吉田会長挨拶



富岡熊谷市長挨拶



並木熊谷市ラグビー協会会長挨拶



熊惑 大島副会長 開式の辞



小林 県ラグビー協会副会長挨拶



岡山桃惑 渡辺さんの乾杯



熊惑創部メンバー



神惑の皆様 挨拶



不惑の皆様 挨拶



魚津不惑の皆様 挨拶



仙台ゆうわく/伊丹様挨拶



栃惑/阿部会長挨拶



川越不惑の皆様 挨拶



群惑の皆様 挨拶



房惑の皆様 挨拶



武惑の皆様 挨拶



松井先生 挨拶



秋元さん[熊谷の夜]熱唱



桜田 副会長 挨拶





# 30周年記念試合

対 群馬惑惑倶楽部  
対 魚津不惑クラブ

(2006.5.7) 荒川ラグビー場









吉田 会長 挨拶



田島 主将 挨拶



桜田 副会長挨拶



エールの交換



魚津不惑 挨拶



群惑 挨拶



## 熊谷不惑倶楽部 創立30周年記念誌 目次

### ・ 祝 辞

熊谷不惑倶楽部（熊惑倶楽部）

創立三十周年記念行事への参加とご協力に感謝申し上げます。 熊谷不惑倶楽部 会長 吉田 嘉高……………1

「創立30周年を祝して」

熊谷市長 富岡 清……………2

創立30周年を祝して

埼玉県ラグビー協会副会長 小林 哲也……………3

不惑クラブの思い出

熊谷市ラグビー協会会長 並木 正一……………4

熊惑クラブ創立30周年を祝して

岡山桃惑クラブ 渡辺 治……………5

創立30周年を祝して

栃惑プレジデント RFC 会長 阿部 貞夫 ……6

祝 熊谷不惑倶楽部30周年

房惑クラブ会長 佐藤 公明 ……………7

熊谷不惑倶楽部創立30周年を祝う

群馬惑惑倶楽部会長 上林 雄 ……………8

熊谷不惑倶楽部創立30周年を祝して

武惑クラブ 会長 元山 泰秀……………9

30周年を祝して

神奈川不惑倶楽部会長 鈴木 剛 ……………10

お祝いの言葉

魚津不惑クラブ会長 中山 良雄 ……………11

熊谷不惑倶楽部創立30周年に寄せて

不惑倶楽部理事長 平島 正登 ……………12

「不惑」のラグビー

仙台ゆうわくラグビークラブ 会長 早坂 次雄 ……13

「感謝」

RFC熊谷 門園 健 ……………14

ラグビーを心より愛する熊惑の皆さまへ

RFC熊谷 新井 孝一 ……………14

祝・熊谷不惑倶楽部30周年

埼玉レィスR.F.C 主将 春日 千恵 ……………15

### ・ 随 想

三十周年に想う

名誉会員 天沼 昭治 ……………16

元に集れ

名誉会員 山田 光弥 ……………17

熊谷不惑倶楽部創立30周年記念に寄せて

名誉会員 本間 貞夫 ……………18

追悼・小嶋さん・・・四国遍路で思う

副会長 櫻田 健次郎 ……………19

熊谷不惑倶楽部30周年記念に思う

副会長 大島 友孝 ……………20

熊惑クラブ30周年によせて

SO 坂西 義武 ……………21

判断と実行

SO 渡邊 義文 ……………22

熊惑クラブ設立30周年に思う

FW 竹田 勝 ……………23

マレーシア駐在記

フランカー 速水 國基 ……………24

熊惑・ラグビーに感謝

フランカー 本村 朝博 ……………25

今年から赤パンツの仲間入り

SH 篠崎 正夫 ……………26

熊惑創部30周年によせて

顧問医師 桜井 剛太郎 ……………27

座談会 熊惑倶楽部の三十年

FW 飯田 重雄 ……………28

楯円の輪

CTB 菊池 健 ……………29

熊谷不惑倶楽部創立30周年によせて

主務 中村 孝 ……………30

ラグビーとの出会いと不惑ラグビー

左プロップ 島川 隆 ……………31

熊惑のさらなる発展に向けて

主将 田島 健 ……………32

・ 思い出のスナップ ……………33

・ 愉快的熊惑クラブ員 ……………53

・ 広告 ……………61

・ 編集後記 ……………77

## 熊谷不惑倶楽部（熊惑倶楽部） 創立三十周年記念行事への参加とご協力に 感謝申し上げます。

熊谷不惑倶楽部  
会長 吉田 嘉高



桜の時期でした、四月の初旬、我が熊惑クラブの遊び場である荒川ラグビー場の土手で夜桜を鑑賞しながら、二十周年記念の試合相手「桜とシダの会」のメンバーと酒を酌み交わしていたのは。…… あれから十年が経ちました。

そして、本日ここに、沢山の仲間達のご参加をいただき、無事三十周年のお祝いが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

毎年、対戦やら懇親会でお世話になっております、東京の不惑倶楽部を初めとして近隣の不惑チーム並びに遠来の仙台や魚津からのご参加本当に有難うございました。

また、公私ご多用の中ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、そして今はプレイする機会はありませんが、熊惑クラブの創立当時の一時期を共に楽しんだ仲間にもご出席いただきました。仕事の都合上、岡山の倉敷で桃惑倶楽部に所属しプレイされている渡辺先生の参加、遠路ご苦労様、本当にうれしく思います。

我が国日本も昨今は、高齢者社会の時代とも言われてますが、その長寿社会に身を置く我々としては、いつ迄も若く健康で有りたいという願望の下、日曜日にはいつも楯円のボールで遊んでいます。菅平での全国不惑大会や関東甲信越不惑大会での対戦相手や定期的に友好試合を組んでいるクラブの皆様方と、いつ迄も元気でラグビーが楽しめるようにと、練習に励んでいる者もありますが、練習はともかく、あわよくば大それた「トライ」などをと夢見て、また、懇親会での美味しい酒だけを期待している仲間がいることも知っています。（これは熊惑に限ってのことではありませんが）

「one for all, all for one」を、モットーとするラグビーに「楽苦備」と命名した先人に感謝しながら、スポーツに仕事にとこれから程々に頑張っていきたいものです。

創部した昭和51年9月に、熊惑クラブ初戦の縁となりました群馬惑惑倶楽部や昭和60年5月に香港遠征を企画して、人数の関係で同行をお願いした神奈川不惑倶楽部（残念ながらノーゲーム）の皆様方には創部以来一方ならぬお世話になりました。当時の懐かしい顔ぶれも最近は様変わりしましたが、長い長いお付き合いに感謝申し上げます。

そして、30周年のクラブの歴史の一ページには、練習に、試合にと共に汗を流し、スクラムを組んだ今は亡き仲間たちも居りました。30周年の記念日を無事に迎えることが出来るのも彼らのお陰でもあります。改めて、心より哀悼の意を彼の仲間たちに捧げたいと思います。

ところで、我がクラブの当面の課題は、会員の確保であります。赤パン組みは黙ってても充実して行くと思います。紺パンもそこそこに人数は維持できそうです。チームの中心戦力である白パン組、40歳代の戦力を何としても集める努力が必要です。関係各位のPRご協力に期待しております。

30周年の記念誌発行に当り、ご多忙中にもかかわらず原稿の執筆依頼を快く応えていただき、激励等の一文をお寄せいただきました。また、広告の掲載や資金面でのご協力いただきました大勢の皆様方に感謝申し上げます。

多くの皆様のご好意と善意、クラブ会員の協力で支えられ、熊惑クラブが今後も活動出来ますことを確信して挨拶の言葉といたします。

皆様、本当にありがとうございました。

## 「創立30周年を祝して」

熊谷市長  
富岡 清



熊谷不惑倶楽部におかれましては、このたび記念すべき結成30周年を迎えられますことに心からお喜びを申し上げます。30年前に熱意をもってチーム結成のために奔走された皆様、並びに日々ご活躍される会員皆様、そしてラグビータウン熊谷のためにご尽力いただいております関係皆様に心から深く敬意と感謝の意を表するものであります。

貴倶楽部の活動拠点「荒川ラグビー場」は、昭和42年の第22回国民体育大会が埼玉県で開催された際にラグビー会場として整備され、以降数々の各勝負の場所となったラグーマンの心の故郷ともいべき場所です。当時、国体開催を契機に熊谷クラブと熊谷少年ラグビースクールが誕生し、県内各地にもクラブチームやラグビースクールができました。以来、貴倶楽部の皆様には主要選手として活躍されるとともに、よき指導者としてご尽力され、本県ラグビーフットボールの普及と発展に大きく貢献されておりますことに重ねて敬意を表するものであります。

また、平成3年には埼玉県のご努力によりまして、全国屈指のラグビー場を擁する県営スポーツ文化公園が整備されました。その年は、第70回を記念した全国高校ラグビーフットボール大会において県立熊谷工業高等学校が全国制覇するなど大きな成果を挙げたところであります。その後も市内では様々な大会が開催され、ラグビーファンはもとより大勢の市民の声援を受けて選手たちが楯円球を追っております。さらに記憶に新しい第59回国民体育大会「彩の国まごころ国体」においては2回目のラグビー会場として埼玉県の優勝につながり、大いに盛り上がったところであります。

これは一朝一夕にして成るものではなく、熱心にして一度も中断することなく活動されてきた貴倶楽部をはじめ、市民皆様のご理解と大勢の関係皆様の取り組みの成果だと思っております。

こうした中、昨年10月1日には、熊谷市、大里町及び妻沼町の1市2町の合併により、新熊谷市がスタートいたしました。それぞれの歴史と伝統を共有することで、将来に向けて熊谷市は新しい夢を描くことができます。熊谷不惑倶楽部の皆様方には、ラグビータウン熊谷、そして新熊谷市の発展に向けての一層のご協力をお願い申し上げます。また、ラグビーボールの楯円とともに信頼と友情の絆をより強固にされ、地域の発展のために更なるご尽力いただければ幸いです。

結びに、創立30周年を契機といたしまして、熊谷不惑倶楽部の益々のご発展と会員皆様の一層のご活躍を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 創立30周年を祝して

埼玉県ラグビー協会 副会長  
小林 哲也



熊谷不惑倶楽部が創立30周年を迎え、ここに記念誌を発刊されますことは、誠に意義深く、心からお祝いを申し上げます。

熊谷不惑倶楽部は、1976年(昭和51年)にラグビーを心から愛する中高年の社会人によって創立されました。不惑(40才)以上のラグビーチームとして、広くラグビーの楽しさを伝えることはもちろん、指導者の育成にも努め、「ラグビータウン熊谷」推進の縁の下の力持ちとして御活躍賜りましたことに、深く敬意を表するものであります。

熊谷市のラグビーの歴史は、昭和42年に開催された第22回国民体育大会においてラグビー会場となった市が、熊谷荒川緑地(荒川の河川敷)に2面のラグビー場を整備したことに始まります。以来、埼玉県におけるラグビー行事はここを中心に開催されてきました。平成3年には「熊谷ラグビー場」が完成し、現在では少年ラグビースクールの開校、中学校や高校の部活動としてのラグビー部の増加、社会人チーム同士の対抗試合など、ラグビーに親しむ人たちの裾野は大きく拡大してきております。この輝かしい歴史において、熊谷不惑倶楽部の方々の御活躍は、無くてはならないものであったと考えます。

さて、熊谷とラグビーとの関わりを考える時、私はいつも、亡くなった明治大学ラグビー部、北島忠治監督の、ある印象深い言葉を思い出します。

「人間が一人でやれることには、悲しいが限界がある。しかし、一人、二人と協力者ができるにつれ、その限界の範囲はどんどん広がり、もっともっと大きなことにチャレンジできるようになる。仕事も家庭も同じことが言えるんじゃないかな。仕事仲間や家族と一致団結する。協力しあえることは人間の大切な能力の1つなんだから。」

ラグビーは共同作業です。どんなに劇的なトライも、ボールを渡す者がいなければ決して成し遂げられません。そして、そのことは社会においても同様です。

私は、熊谷市のラグビーの発展が、単なるレクリエーション・スポーツの域を超え、失われつつある家族のつながりや社会の連帯を取り戻す、力強い原動力になればと願っております。熊谷不惑倶楽部の皆様におかれましては、熊谷のラグビーと社会の発展のために引き続きのお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

最後に、私事ではありますが、10才から12才までの3年間、ラグビースクールの創設当時の生徒として、ラグビーを学ばせていただきました。熊谷不惑倶楽部には、当時の先生方がまだ現役でプレーをされています。その力強い姿に、羨ましさ、まぶしさを感じるとともに、ラグビーをより多くの人々に御理解いただくためのリーダーとして、これからも益々の御活躍をいただきますよう、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 不惑クラブの思い出

熊谷ラグビー協会 会長  
並木 正一



熊谷不惑クラブ創立30周年を迎え、長年の歴史を振り返り不惑クラブ記念誌を発刊されますこと誠に意義あることであり心からお祝い申し上げます。私も不惑クラブ発足時に参加させて頂きました。しかし、仕事があり予定通り練習・試合に参加出来ませんでした。常に暖かく迎えて下さいました事、感謝しクラブの一員として皆さんと共に荒川河川敷で練習を行い気持ち良い汗を流し何とも言えない満足感をえました。そして練習後の楽しみ、それは三朝サウナで疲れを癒しクラブメイトと交友を深め楽しい一時を過しながら我を忘れてラグビー談議に花を咲かせたことなど昨日のように思い出されてなりません。年々年を重ねるごとに正直練習を厳しい状況となり時と共に、勝負は二の次参加することに意義ありの先入感を持つようになり気持の中では楽しむラグビーに少し変わりました。最小限の練習と共に体力の維持体調を整え練習に望むようになりました。ラグビーは私に取りましては、唯一の生甲斐であり湧き出る清水のようにラグビーを通して清く正しく生きることを心に刻み、ラグビーで培った根性で我が人生に於いて直面する数々の難題にも強い精神力が持てるようになり日々実践の中でラグビーと共に充実した日々を送らせて頂きました。不惑クラブ発足当時メンバー皆若く活力に満ち意欲的に県内外チームとの練習試合を行い各チームとの友好の輪を広げました。試合の中で楽しかった事、辛かった事、悔しかった事今でも鮮明に記憶に残っております。しかし、自分として不覚と致す事が生じました。それは練習試合で足を痛め長い間放置したのが原因で、7ヶ月の入院生活を余儀なくされ四回手術を受けた事があります。振り返って考えた時、自分の試合に対する気迫が欠けていた事と戒めております。全快し、その後何度か練習試合に参加し幸い支障なくノーサイドの笛が鳴るまでプレーが出来ました。

ラグビー生活の中で忘れる事に出来ない試合があります。それは海外遠征試合の台湾巨人軍戦です。対戦相手は皆若く、我がチームは故障者が続出し、選手をお借りして混成チームでの試合となりましたが記憶に残る素晴らしい国際親善試合でした。試合終了後懇親会の運びとなり、言葉は通じませんが意気投合し、楽しい一夜を過したことが強く印象に残っております。

現在ではラグビーを通して培った教訓を生かし、社会のために役立ちたいと決意を新たにしております。不惑クラブの皆さんには、本市が掲げております『ラグビータウン熊谷』に対して物心両面から積極的にご指導ご協力頂き、指導頂いたラグビースクールの卒業生が指導者や本市のラグビー推進に活躍頂いております。

熊谷市に於いては、全国でも有数な規模を誇る県営熊谷ラグビー場を有しておりますので、不惑クラブ関係の皆さんラグビータウン熊谷の更なる発展に引継ぎご指導賜りますようお願い申し上げます。

結びに不惑クラブ創立30周年を契機に、クラブ皆さん健康にご自愛頂き益々のご発展ご活躍を祈念致します。

# 熊惑クラブ創立30周年を祝して

岡山桃惑クラブ  
渡辺 治



熊惑クラブ創立30周年をお祝いし、心からお喜び申し上げます。

前回20周年の祝賀会にお誘いを受け、記念試合にも出させていただいてからすでに10年が過ぎてしまいました。私もあと2年で赤パンの仲間入りをする年になりました。それでも熊谷へ帰った時には皆さんの元気な顔を見て一緒に走り、上海楼で一杯やるのを何よりも楽しみにしております。

思えば一番下の息子が熊谷ラグビースクールに入れてもらい、それを機にラグビーを再開し、以来20数年ラグビーに関わって来ました。その息子も今年は成人式を迎え、時の移ろいの早さを改めて感じております。岡山へ帰ってから県協会のスクールで小学生、中学生と毎週日曜日には元気に走り回っております。

20周年の時に貴クラブにご紹介いただいた芦屋楽惑クラブともその後毎年新見市で開かれる解惑ラグビー大会を通し交流させていただいております。また、この大会に熊惑クラブの皆さんに来ていただいたことも思い出深いこととしてついこの間のよう思い出されます。また是非参加していただき、ラグビー後進県岡山に本当の意味での紳士のスポーツラグビーをご教示いただき、親しく交流させていただければと願っております。

私はここ数年自分でプレーすることもさることながら、スクールのチームドクターとして子供達にいかに安全にプレーをして、楽しんでもらうかということに力を注いでおります。マウスガードの普及もその一つで、ラグビーのみならず他の格闘系のスポーツ全般に普及活動を広げております。前回の花園での高校選手権では多くの選手がマウスガードを取り入れていたのを目にされた方も多いと思います。これは昨年夏に菅平で合宿中の高校生が相次いで事故で死亡するという痛ましい事件をふまえ、関東協会と高体連が急遽試行的に取り入れたものと聞いております。我らの愛するスポーツラグビーを安全に、生涯にわたって楽しむための努力をして行きたいと考えています。

最後になりましたが会員皆さんのたゆまぬ努力で作上げた素晴らしい熊惑クラブのさらなる発展を願うとともに、今後とも変わらぬご指導、ご交誼をお願いして30周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



## 創立30周年を祝して

栃惑プレジデントRF C  
会長 阿部 貞夫



熊谷不惑倶楽部創立30周年誠におめでとうございます。

ラグビーをこよなく愛する同好の皆さんが不惑チームを結成され、以来幾多の難関を乗り越えて輝く伝統ある倶楽部を築きあげ、今年記念すべき節目の年を迎えられましたことを栃惑プレジデントクラブー同心からお慶び申し上げます。

わが栃惑プレジデントクラブは創設以来熊谷不惑倶楽部には多大のご厚誼を賜り、森山花水木公園グラウンドの整備にご支援を頂くなど日ごろから大変お世話になっております。また毎年ホームとアウェイの試合を交互に行う定期戦のお付き合いをお願いしております。

長い定期戦の交流の歴史の中には思い出深い試合がいろいろありますが、最もしんどかった試合といたしますと10年も前のことですが真夏の暑い盛りに、栃木県北部の大田原市の蛇尾川河川敷グラウンドで行われた試合です。まだ森山花水木グラウンドができる前のことでやっと探した試合の場所がここでした。確か7月末の昼近い時間でした。暑い何の汗は出尽くして顔中塩が噴出し、ただただ試合後の冷たいビールのことばかり考えてノーサイドの笛を待ったものです。また熊谷の荒川河川敷グラウンドでの雨上がりの中での試合で泥の中に押しつぶされた苦い経験もあります。

交流試合も楽しいものですがなんといってもアフタゲームファンクションは楽しいものでした。試合以上に盛り上がります。今はなき一瀬さんの「おおーい、春が来たぞー」という名せりふですとか、お名前は失念しましたが南極探検隊の方のアイドル歌手そのこのけの歌には大きな拍手が沸いたものでした。これからも楽しい交流をお願いしたいと思います。

熊谷不惑倶楽部が30周年を機に一段と飛躍され、地域ラグビー界の中核として今後40年50年に向かってますます隆盛発展されますとともに、会員の皆様の更なるご活躍を祈念いたしお祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝 熊谷不惑倶楽部 30 周年



房惑クラブ  
会長 佐藤 公明

熊谷不惑倶楽部は1976年(昭和51年)に創立されたと聞き、さすがラグビーが盛んな土地と感じました。まだ不惑チームが少ない時代で少しずつ不惑チームが育ちつつあった頃と考えられます。私はまだ不惑になっておらず、ラグビーより仕事・家庭という時代でした。熊谷市は関東地方でラグビー場を一番多く持っている都市でしょう、グラウンドがあれば人も集まり、試合も多くでき、またレベルの高い試合観戦と良いことが多く楽しいことと存じ上げます。千葉県は昨年まで県営・市営とも芝の専用グラウンドがなく高校の決勝、各種大会においても関係者が大変苦労していました、何時も埼玉県・熊谷市を羨ましく思っていました。

房惑クラブは1983年(昭和58年)に創部、当初は県協会主導でチームを発足、当初から松戸自衛隊のお世話になり、ホームグラウンドとして使用させていただき芝のグラウンド、大浴場、隊員クラブ施設内での懇親会と申し分けない環境で、会員も約半数が松戸・習志野・下総など自衛隊のOBで強いチームでした。この頃は熊谷にも数回遠征し河川敷で試合した記憶があります。また関東甲信越大会で県営熊谷 A グラウンドでの試合も2回あったと覚えてます。一時交流が途絶えていました、熊谷～松戸は交通が不便で3時間近くかかったのが続かなかった原因でしょう、近年 松戸から高速道路で熊谷まで約1時間となり、2003年に熊谷から松戸に来ていただき、昨年4月3週 = 松戸、10月1週 = 熊谷で定期戦を行うことになり、昨年は11月27日に荒川の河川敷最高のグラウンドでゲームそしてアフターファクションと楽しみました。毎年30名以上の遠征で2試合(20分×4本)やりましょう。房惑は24年目を迎え、黄11名、赤28名、紺23名、白26名、計88名ですが黄赤チーム以外 紺・白とも松戸でも編成が厳しい状況で市原不惑などの支援を受けながら、赤・紺・白の20分×6本を実施していますが、55才を中心に上・下に分けて20分×4本 2試合がベストと考え 4月以降はホーム・アウェイとも2ゲーム制を考えてます、年に数回 熊惑の皆様にお会いするのを楽しみにしております。

熊谷不惑倶楽部の益々のご発展とクラブの皆様のご健勝をお祈り致します。

# 熊谷不惑倶楽部創立30周年を祝う

群馬惑惑倶楽部  
会長 上林 雄



熊谷不惑倶楽部の皆様、創立30周年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。これまでの30年、倶楽部の活動を支えて来られた関係各位のご尽力に対し、心より敬意を表します。

私どもと貴倶楽部は、創立期が同時期であり、また近隣同士と言うことで親しくおつき合いを願って参りました。昭和51年9月26日、立正大学のグラウンドが初戦と記憶しております。

草創期は、各チームとも、若い年代のメンバーが主流で、赤パンツ以上は貴重な存在でした。しかし現在では、一般社会現象と同じく、高齢化が進み、赤パンツ以上の占める割合が高くなっているのが現状かと思えます。

近年、ラグビーの競技人口が減少傾向にあり、今こそ底辺の拡大に取り組む時期かと思えます。

ラグビーフットボールが、生涯スポーツとして広く人々に認知され、子供達が、ラグビーをもっと身近に感じる事の出来る機会をと考えます。

人間関係が希薄になっている今日、ラグビーを通して、お互いを尊重し、思いやりの心を育むことにより、青少年の非行防止にも役立ち、明るい社会づくりの一助になるものと思えます。

熊谷不惑の皆様が中心となり、ラグビーの普及活動を実践なされているのが、ラグビーの街に相応しい熊谷市ではないかと思えます。そして皆様の活動が、社会を変える礎となることを願います。

恵まれた環境で、ラグビーを楽しむことの出来る熊谷不惑の皆様のご活躍が、我々オーバー40のラガーの目標となります。

今日までの30年の足跡を大切に、これからも力強く未来に向かって下さい。

熊谷不惑倶楽部のますますのご発展と、会員皆様のますますのご健勝をご祈念申し上げます。簡単ではありますが、お祝の辞と致します。

## 熊谷不惑倶楽部創立30周年を祝して

武惑クラブ  
会長 元山 泰秀



熊谷不惑倶楽部創立30周年 おめでとうございます。

昭和51年から55年の頃、埼玉県内では各地にラグビーのクラブチームが誕生しました。当時の新聞に熊谷にオーバー40のチームが出来て、部員募集の記事があり興味を持って訪れましたが、現在と異なり県南の越谷からは非常に不便に感じました。それがきっかけで県南・県東地区にオーバー40のチームを作ろうと思いました。浦和不惑クラブ、武里クラブ（現、春日部クラブ）、越谷クラブ等に呼びかけ、53年の秋に「武惑クラブ」を創りました。2年遅れのスタートでした。

熊惑クラブとの最初の試合は、荒川グラウンドで54年5月でした。当時のトップチームの熊谷クラブを母体とする熊惑クラブは充実したチームで、なかなか勝してもらえず、連戦連敗が続きましたが、まともに胸を貸してくれる兄貴的存在のチームでした。

昭和60年の群馬惑感倶楽部10周年記念大会で関東甲信越不惑大会開催の提案があり、翌61年に第1回大会が高崎市浜川グラウンドで行われました。この大会は各県1チームの参加とする事で、埼玉県は熊惑クラブと武惑クラブの合同チームで参加することに決めました。更に第3回大会から持回りとなり、熊惑クラブの絶大なるご協力により、武惑クラブと共に、熊谷市荒川グラウンド(2面)で開催しました。又、平成3年には熊谷市に3面のラグビーグラウンドのある県営ラグビー場がオープンしました。名実ともにラグビータウン熊谷の誕生です。これを記念して熊惑クラブと武惑クラブが主管して第6回の関東甲信越不惑大会を開催しました。この大会から10チームが出揃いました。

このように熊惑クラブと武惑クラブは、時には激しく闘志を剥き出しにして戦い、ノーサイドの懇親会では楽しく美酒を汲み交わし、時には埼玉不惑の合同チームとして協力して対戦しています。特に最近赤パンは合同チームとしての試合が多くなっています。

2年先には、関東甲信越不惑大会の3回目の当番の予定です。お互いに連携を深め、充実した大会運営を図りましょう。又、チームとしてはお互いに厳しく切磋琢磨して精進していきたいと存じます。今後共、兄貴分のチームとしてご指導頂くとともに、熊谷不惑倶楽部がラグビータウン熊谷の軸となるシニヤチームとして、益々のご発展される事を祈念してお祝の挨拶と致します。

## 30周年を祝して



神奈川不惑倶楽部  
会長 鈴木 剛

熊谷不惑倶楽部の皆様 倶楽部創立30周年 神奈川不惑倶楽部を代表して心よりお祝い申し上げます。

貴倶楽部とは、昭和55年創立まもない神奈川不惑と始めてお手合わせを願って以来27年となりました。毎年桜の季節に定期的に交歓試合にご招待いただき、我々は楽しみにしてまいりました。又、昭和60年熊惑・神惑合同にて香港遠征にご一緒させていただき貴倶楽部とのお付き合いも一層深まった思いもあります。生涯スポーツとしてラグビーを楽しむ同志として長い間皆様と親しく交流を重ねさせていただき、常に追いつき追い越せと努力目標としてまいりました。

これよりも皆様が益々活発な活動を展開していただき、生涯スポーツの惑ラグビーの発展に寄与されることを祈念いたします。

最後に、貴倶楽部の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。  
創立30周年おめでとうございます。



# お祝いの言葉

魚津不惑クラブ  
会長 中山 良雄



貴熊谷不惑俱樂部が、創設三十周年を迎えられ、記念式典並びに記念誌発刊されるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

一口に三十年とは申しませんが、1976年(昭和51年)創設以来、絶えざる努力と継続的な活動を積み重ねてこられました情熱に対しましては、万人、脱帽せざるを得ないものと確信いたしております。

私達魚津不惑クラブも発足15年を迎え貴クラブの半分の年齢となりました。平成十一年の菅平での全国不惑交流大会での対戦以来、貴クラブとの交流が始まり、7回を数え今年で8回目を迎えることとなります。

魚津不惑にとっても、この交流会は年間行事で最も大事で楽しみなものとなっており、欠かす事が出来ない行事となっております。

ゲームでの勝敗も重要ではありますが、不惑としてユニフォームを着たメンバー全員参加によるクリーンで楽しいラグビー、これぞ裸の付き合いと言えるような懇親会。このような交流が未永く続く様にと、魚津不惑全員の気持ちです。

これまで、数多くの優秀な選手を育ててこられました熊谷市、及びラグーマンの範となり、熊谷ラグビーを引っ張ってこられました熊谷不惑俱樂部の一層の飛躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。

# 熊谷不惑倶楽部創立30周年に寄せて

特定非営利活動法人 不惑倶楽部  
理事長 平島 正登



熊谷不惑倶楽部創立30周年おめでとうございます。

私共不惑倶楽部は1948年創立以来中高年のラグビーチームの存在が限られていることから、大阪の惑惑チーム、福岡の迷惑チームと三つ巴の三惑大会を活動の中心とし、惑年齢には満たずとも若干平均年齢が高めのラグビーチームを探しつつ試合を行ってまいりました。

当時40歳を過ぎてラグビーをやるのは余ほどやることの無い暇人が気違いと見られながらも、ラグビーとアフターファンクションの楽しさを忘れられず、前記どおり限られた中で活動を行ってまいりました。

その後、暇人氣違い集団は東京近県にも現れ、神奈川、千葉に続き埼玉県北部に貴倶楽部の創立を見ました。

熊谷倶楽部とは2年後に創立された埼玉県南部の武惑倶楽部とともに毎年定期戦を楽しませていただいております。

特に1991年に熊谷県営ラグビー場がオープンした際は、熊谷倶楽部の多大なご尽力により、私共不惑倶楽部が当番の関東甲信越大会の会場として当ラグビー場をお手配いただき、惑ラガーに大きな感激を与えていただいたことは記憶に新しく、深く感謝しております。

倶楽部とは早春の寒風吹きすさぶ荒川河川敷グランド及び北埼玉のラグビーのメッカ熊谷グランドでの熱のこもった試合と、その後のサウナ風呂宴会場及びそば屋でのホスピタリティあふれるアフターファンクションは、緊張感あふれるラグビーゲームと、その戦いぶりを認めたくて友好を深めるノーサイドの精神を具現化し、40歳を過ぎてなお、若き日のラグビーゲームの興奮とその後のさわやかさを思い出させてくれます。

この楽しさを東京近県の惑のラガーが共有すべくこの場をお借りして、東京近県惑倶楽部が一同に会しての東京日帰り近県での惑ラグビー大会の実施の提案をさせていただきたく存じます。

惑ラグビーの社会における意味合いは、惑ラガーがラグビーを楽しむことは勿論ですが、惑ラグビーの若干の先輩である私共の経験から、旦那が日曜日に家をあけることによる奥様の心の安らぎと家庭円満、少子高齢化の中で高齢者の心身の健康増進による高齢者の他者への依存度の低下及び医療費減、健康な高齢者の社会活動による明るい高齢社会の実現等考えられますが、このことは我々がラグビーを楽しむことそのものが結果的に社会へ貢献することになるといえます。この意味合いと若干の積極的な弱者援助活動を事業として不惑倶楽部は1997年にNPO法人となりました。勿論活動の中心は高齢者にラグビーを中心とした余暇活動の場を提供しつつ豊かな生活社会に貢献することです。

熊谷倶楽部の輝かしい創立30周年を迎え、次の30年のスタート台に立つにあたり、地域の中での熊谷倶楽部のラグビー活動が更に発展し、多くのラガー、高齢者、他スポーツ等余暇活動への刺激となり地域社会全体の発展につながりますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 「不惑」のラグビー

仙台ゆうわくラグビークラブ  
会長 早坂 次雄



このたびは、「熊谷不惑倶楽部」創立三十周年を迎えられ、記念誌が発行されますことは、誠に喜ばしく、心よりお慶び申し上げます。と同時に、この寄稿文を書く機会を与えられたことに感謝申し上げます。創部から一度の中断もなく、活動を継続して迎えられたことは、会長を始めとする会員みなさんの「協力」と「努力」の賜物と言えるでしょう。只、忘れてならないのは、ラグビーに情熱をそそぐ会員の存在と共に、みなさんの家族の「理解」と「支援」があったからこそと思います。

また、ラグビーを「生涯スポーツ」の一つとして捉えているとのこと、同感しております。私自身、不惑ラグビーを「生涯スポーツ」として取り組んでおります。会員とは「なだめたり」「ほめたり」「怒ったり」しながら接し、練習に試合に参加しております。

ある指導者が言っておりました、“ラグビーは激しいスポーツだからこそ、「優しさ」が求められるし、苦しいからこそ、チームメイトには「思いやり」をもって、プレーをフォローし、みんなが仲間だからこそ、「厳しさ」をもって接することが大切である”と。このことは、「不惑ラグビー」にも合致していると考えます。この精神を大切に、今後もラグビーを楽しんでいきたいと思えます。

私達が、日常生活の中に、自分の体力、知力を維持すべく、如何に訓練を取り入れるかが、仲々の難問です。週1回くらいの練習、試合は、楽しいのは別として、体力の消耗は図り知れない。ましてや、危険にも直面している。現在の不惑の試合は、段々激しさを増している。現役ラグー同志のゲームのような錯覚さえおぼえるプレーが多々見られる。勝負にこだわるが故に、激しくも、無理、無茶なプレーが、また、激しいゲームの展開の連続、このような傾向は喜ばしいとは考えていない。もっと「不惑ラグビー」があっていいと思う。これまでも、ラグビーに親んでいたのに、離れてしまった人を多く見てきました。多くのプレーヤーが、ひとつのボールに集中し、みんなの手に触れて、結果的にトライを生み出す。つまり、「ボールゲーム」も「不惑ラグビー」の一つのスタイルに思えるのです。みなさんはどう考えるでしょうか。私達のチームは、不用なキックを避け、みんなでボールをつなぎ、支配、継続するラグビーを目指しております。それが、「楽しいラグビー」にも結びついていると思えます。この「楽しいラグビー」を目指して、みんながグラウンドに集まるようにしております。

原稿依頼を受けたことで、「不惑ラグビー」の在り方を反省、考え直すこととなり、感謝しております。

最後になりましたが、会員皆様が健康で、「熊谷不惑ラグー」精神を発揮し、高い目標に向かって精進を重ね、社会に貢献され、成長されることを期待いたします。「熊谷不惑倶楽部」の益々の発展を心より祈念いたします。



## 「感謝。」

R F C 熊谷  
門園 健



熊惑クラブ創立30周年おめでとうございます。熊惑クラブの記念すべき年にチームは異なりますが、同じグラウンドでラグビーが出来る事を嬉しく誇りに思います。私自身、高校卒業後熊谷クラブに参加して16年目を迎える事ができました。これも偏に諸先輩の温かい心遣いのお陰です。私が入部した頃は熊惑クラブで故一ノ瀬先輩が主将をなさっていた時でした。今思うと19歳の私をグラウンド以外でも熱心にご指導頂き、大人として扱って頂いた初めての方だった気がします。又、同行させて頂いた第2回目のオーストラリア遠征は、初めての海外旅行で勿論楽しかったのですが、熊惑クラブのメンバーとしてオージーラガーと交流試合が出来た事は何よりも鮮烈な印象が残っています。私も今年で34歳になります。練習毎に諸先輩から「カドもそろそろこっちか？」とお声掛けを頂きますが、19歳の時の私が諸先輩にして頂いた事を後輩達にしてから熊惑クラブに行こうと思いますので、もう少し時間が掛かりそうです。いずれにしても10年後の創立40周年の時は熊惑メンバーとしてグラウンドに立ってられるよう今後もご指導お願い致します。熊惑クラブに関わる全ての方に感謝。

## ラグビーを心より愛する熊惑の皆さまへ

R F C 熊谷  
新井 孝一



熊惑クラブ創部30周年おめでとうございます。これまで大変お世話になってきた熊惑クラブの30周年記念誌に、こうして寄稿できることを心より嬉しく思います。

高校卒業以来、かれこれ12年のお付き合いになります。熊惑クラブの諸先輩方から教わったことは数知れません。ラグビーの楽しみ方、酒の飲み方、プレイ中の口の動かし方(笑)はもちろんのこと。一緒に交流していく中で、社会生活における知恵をたくさん授かったことは貴重な体験でした。本気で楯円球を追い、酒を飲みながらラグビーを熱く語る“不良オヤジ達”に囲まれて、一緒にタッチフットやったり、試合やったり、上海楼に行ったり、酒飲んだり、鍋食べたり、想いかえすと楽しいことばかりです。“大人の遊び方”を教えてくださいました。今でも、熊惑と一緒にやるタッチフットや、土手で食べる熊惑鍋は楽しみの一つです。10代~60代までの幅広い世代が、ラグビーを通して交流できるこの素晴らしい環境をいつまでも残していきたいと切に感じております。こうした貴重な環境に出会えた幸運を嬉しく思うとともに、皆様と一緒にラグビーができることを誇りに感じております。今後も変わらず、R F C 熊谷メンバーへのご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 祝・熊谷不惑倶楽部 30 周年

埼玉レディース R.F.C  
春日 千恵



「おお、レディース、早くラインに入れ！」とグラウンドで声をかけてくれる、すてきな熟年ラグーマン。皆、額に脂混じりの汗を光らせ、誰よりも自分が若いつもりでグラウンドを走り、何よりも練習後のビールを楽しんでいる熊谷不惑倶楽部。創立 30 周年、本当におめでとうございます。埼玉レディース一同心から祝福いたします。

私が、ラグビーとであったのも約 10 年前。某新聞の埼玉版に熊谷不惑倶楽部とスクール、さらにレディースの紹介記事がのっていたのがきっかけでした。タイトルは「熟年も女性も楽しくラグビー」だったのでしょうか。高校までソフトボールを続けていた私にとって、進学と同時にスポーツから離れ、なにかまた始めたいという気持ちのところ目に飛び込んできたのがこの記事でした。

グラウンドに行ってみると女子チームとともに歓迎してくれたのが、熊谷不惑倶楽部のメンバーでした。全くラグビーの知らない私にとっては不安も強かったのですが、声をかけてくれて、ボールの扱い方、走り方、ポジショニングなど指導していただきました。

女性と男性ではとかく筋力・体力の違いで同じようにはプレーしにくい面も多々ありますが、レディースを常に迎え入れ、とにかく一緒に練習させていただけることは、少人数しか集まらないわがチームにとってはとても感謝しているところです。

過去には、女子の試合ともなると応援に駆けつけてくれ、女子チームの中でも人数の少ない弱小チームが、どこのチームより応援は大人数で声援の大きさは負けてなかったのを憶えています。

現在レディースは人数も少なくなってしまったこともあり、熊谷不惑の一員として協会登録させてもらっており、様々な場面で熊谷不惑のご協力をいただいております。僭越ながら今後とも共同で熊谷不惑倶楽部を盛りたてていければと思っております。最後に、熊谷不惑倶楽部のますますのご発展をお祈りいたしております。

## 三十周年に想う



熊谷不惑倶楽部 名誉会員  
天沼 昭治

熊谷不惑クラブ 三十周年記念おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。ラグビーで一つトライを生むには、選手の連携と選手個々の不屈の精神力が必要です。このことを自から体験を通じて学んできた仲間の集まりが、本クラブです。私は、ラグビーを愛し、その青春を賭けた同志が、クラブを結成し人生航路を邁進する姿は何よりも価値があり、美しいものであると思う今日この頃です。

思えば、荒川の河川敷で県大会を行っていた時代、何とか「専用のラグビー場」が欲しい何とかならないか何とかしようとしてクラブの同志と五里霧中で猛運動を展開しました。時の知事・市長・国会議員・県議会議員・市議会議員・行政の役職の方々・各界各層の先輩の方々への根回し、陳情請願を昼夜兼行で行きました。今で思うと、時代が良かったのでしょうか、スポーツ文化公園として私達の夢を実現させて頂きました。そして、その中に「西の花園・東の熊谷」と並び称される立派なラグビー場を建設して頂きました。誠に有り難いことです。関係されました各界の諸先生に心より感謝申し上げます。

又、地元の高校がめでたく花園への出場が決ると、父母会と共に毎回毎回賛助金集めの推進力となって来たのもよい思い出です。そして、全国制覇の偉業を後輩達が成し遂げた時は、泣けました。嬉しくて・嬉しくて涙が止りませんでした。時の熊谷市長は、今青少年に求められる人間像は、豊かな人間性・責任感・連帯性・そして不屈の精神力を備えた人間形成であると言われました。これらは、ラグビーにより培われると「ラグビータウン熊谷」として、熊谷市発展の基とすべく運動を展開し、今日に続いております。本当に有意義なことだと思います。今、本県では「南のサッカー・北のラグビー」と言われておりますが、県北におけるラグビーの名を不動のものとし確立したのは、本クラブであると確信しております。

三十年間いろいろ有りましたが、よくやれたものだと感慨無量なものがあります。人は一人では生きていけないと言われます。「一人は皆のため、皆は一人のため」というラグビーの格言がございますが、本当にそうだと思います。仲間を思いやる優しい心の同志・自己と厳しい戦にも負けない強い心を持ったクラブの人達に支えられ、私もやってこられました。末席に名を連ねさせていただくことに感謝を申し上げ、本クラブが今後も発展を続けることを心より祈念する次第です。

熊谷不惑クラブ万歳有り難うございます。

## 元に集れ

熊谷不惑倶楽部 名誉会員  
山田 光弥



振り返って、見ると70才、不惑と共に30周年、私が40才の時、荒川のグラウンドにかっ  
て、ラグビーのボールに魅せられて、もう一度プレーをしてみたい。

当時の写真が、私共の事務所に掛けてある。東北地方から太平洋セメントに工事にきた。元  
ラガーマン。熊谷工業高校が花園出場したペナント(1977年~1996年まで)を見て、  
その中から準優勝・第3位・優勝を見つけて、何方がラグビーをと、尋られ、私も倅も、懐  
かしい思い出と、辛く楽のしかった思いが、走馬灯の様に・・・その思いが、不惑と云う  
チームを立ち上がらせたと考えています。時の流れと、楯円のボールに魅せられた、兵共の  
思い出の場所なのかもしれない、人はそれぞれに、ノーサイドの笛に思い出と苦楽を共にし  
た友達、先輩、後輩、その時代その時代に、想いを寄せた楯円球、これからも、この球の元  
に集れ、30周年おめでとうございます。



## 熊谷不惑倶楽部 創立30周年記念に寄せて



熊谷不惑倶楽部 名誉会員  
本間 貞夫

熊谷不惑倶楽部創立30周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私が熊谷不惑倶楽部の存在を知ったのは、昭和51年ふと目にした熊谷市報に掲載されていた入会希望者を集う内容の記事でした。当時の記事には楽しい練習風景が写真で紹介されていて、「入会希望者は事務局まで一報あれ。」との言葉。記事を見て早速事務局に入会の連絡をしたところ、快く入会を認めて頂きました。初練習は翌週の日曜から荒川ラグビー場にて行なわれ、二十数年ぶりのボールの感触に、懐かしさと嬉しさが込み上げて来た事を昨日のように思い出します。当時、熊谷不惑倶楽部は熊谷商工高校OBの方々を中心に、毎週日曜日の午前10時から荒川ラグビー場にて活動しておりました。主な活動内容は練習と練習後のミーティングでしたが、私の思い出として残るのは、冬の寒い時期の厳しい練習とその後行われる焚き火で暖をとりながらの酒の美味しさ……。また暑い夏の練習後には冷えたビールを片手に反省や世間話……。疲れを忘れる癒しの時間。仲間達との語らいの時間もラグビーを続けていく中で重要な要因の1つであったと思えます。

チームに入会して初めて迎えた試合は、立正大学グラウンドに高崎不惑倶楽部を招いての試合だったと記憶しております。試合は残念ながら惜敗してしまいましたが、私にとってはそれ以上に得るものの多かった試合でした。チームメイトの持ち寄り手製の弁当、差し入れの飲み物、又多くの方々の温かい応援に触れ、自分達だけが運営している倶楽部ではなく、多くの関係者に寄って支えられている倶楽部なのだと思感させられる大変思い出深い試合でありました。その試合のメンバーを紹介させていただきます。新井(故人) 吉田(現会長) 今井(故人) 隈部 山田 秋元 箕田 天沼 鯨井 一ノ瀬(故人) 箕田 原口 三沢 並木 本間(敬称略)特筆すべきところは、我がチームのフォワードの強さです。又その後、鎌田大遼さんを団長として台湾遠征も果たし、台湾不惑倶楽部との交流試合も果たす事ができました。試合の勝敗はともあれ、台湾の皆様大変お世話になり楽しいひと時を過ごさせて頂いた事、今でも感謝の気持ちで一杯です。

その後私は熊谷不惑倶楽部の部員として通常の活動に留まらず、熊谷工業高校を花園の常連高として育て上げられた森先生を応援する「森和会」の賛助会員の一員にさせて頂きました。その活動からも多くの仲間と知り合い親交を深めることができ、熊谷のラグビー活動の発展を支援していく活動は広がっていきました。熊谷ラグビー場の誘致にあたっては、多くの仲間と共に関係各所を陳情して廻り、「西の花園」「東の熊谷」と呼ばれまでの立派なラグビー場が完成致しました。この場をお借りして、この活動にご賛同いただいた全ての方々へ感謝の言葉を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

私も今年70歳を迎えます。未だに熊谷不惑倶楽部の行事には声を掛けて頂き、感謝の気持ちで一杯でございます。最後になりましたが、名簿を見、故人になられた方々へのご冥福を心よりお祈り申し上げます。それと共に熊谷不惑倶楽部が吉田会長の下、益々ご発展されます事をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせて頂きます。今まで本当にありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。

## 追悼・小嶋さん・・・四国遍路で思う

熊谷不惑倶楽部 副会長  
B K 櫻田 健次郎



平成16年9月21日、定年退職後のサンデー毎日の好機を活用し四国霊場八十八ヶ所の歩き遍路(野宿中心)に挑戦し1番霊山寺を出発した。当初は35日ぐらいで歩き終える計画であったが、途中3度台風に見まわれたりして予定が狂い、88番大窪寺を打ち終えたのが10月31日午前9時前で、41日間の四国遍路となった。大窪寺からの帰路は霊山寺へのお礼参りの道を途中野宿1泊を予定して歩いていたが、雨が本降りになってきたので、結願祝いを兼ねて金清温泉に投宿して41日間の疲れを温泉と酒でいやした。部屋では携帯電話が通じず、この日、小嶋さんが群惑との試合中に倒れ帰らぬ人となったことを知る由もなかった。11月1日、中村さんから小嶋さんの死を聞いたときは驚愕しました。「元気な若い人が何故」「遍路が予定通り終わっていたら、俺もグラウンドで一緒に走っていたな」といろいろと脳裏に浮かんできました。予定が延びたために、遍路結願の日と小嶋さんが亡くなられた日が偶然にも重なったことに奇縁を感じたしだいです。

合掌



今は亡き 小嶋さん

## 熊谷不惑倶楽部 30周年記念に思うこと

熊谷不惑倶楽部 副会長  
FW 大島 友孝



熊谷不惑倶楽部創立30周年記念おめでとうございます。

ラグビーは、英国を発祥の地として世界各地に広まり4年に1度のワールドカップが開かれるほどの人気スポーツとなりましたが、日本代表がいまひとつ良い成績を残さないことから、日本での人気は右肩上がりとはいえないと思う。

私は、高校生になってラグビーを始めたのですが、埼玉県の高校で部活としての活動は6校しかありませんでした。ちなみに学校名をあげますと、浦和高校、浦和商业、熊谷高校、深谷商業、本庄高校、母校の熊谷商工でした。そのくらいでしたから一般の人たちにも、あまり知られてなかったのでしょうか？ ある日、自宅にあの「ボール」を持ち帰ったところ「それは何だ？」と聞かれたほどですから・・・

3Kと言われたこのスポーツも今でこそどなたに聞いても分かる時代になりましたが、最近少し低迷してきたように思えて残念でなりません。3Kと言われたことが今もって根強く残っているのでしょうか、それとも少子化問題もありますかね？

そんなこととはつゆ知らず、ラグビー部に誘われるままに入部しました。それからが大変でした。3Kとよく言ったものです、毎日の練習、合宿と皆さんについていくのに苦勞の連続です。今考えると何故こんなことする気になったのか不思議です。ラグビーは、男性のするスポーツであると言う憧れもあったのでしょうか？でもその苦勞を乗り越えられたことが今の自分であろうと自負しています。

熊谷不惑倶楽部も30歳になりました、人生にたとえれば働き盛りの年齢になりました。創部された先輩諸氏に御礼申し上げます。そして今日に至るまで、各不惑倶楽部の皆さんには、交流戦を含めいろいろご指導いただき、私たち倶楽部を育ててくれたことは、皆様のご協力のお陰であると感謝申し上げます。

海外では、オーストラリア遠征、国内では、秋田、岡山、仙台、魚津のみなさんとも交流させていただいております。菅平全国不惑大会、関東甲信越大会と、恒例になりました群惑、不惑、析惑、房惑、神惑の皆さんとも交流を楽しみにしています私です。これからもよろしくご指導お願いします。

そこで熊谷不惑倶楽部会員のみなさまにお願い申し上げたい、最近練習、試合の参加される方が少ないです。試合をするにもメンバーがギリギリ、又は不足では、試合を組んでくれた相手に失礼になります。ラグビーは紳士のスポーツと言われていますが相手の方に失礼があってははいけません。生涯現役と言う言葉もありますように、私も、体力の続く限り、続けたいです。若い皆さんはまだまだこれからです。頑張りましょうよ！！

熊谷不惑倶楽部もこれから40年、50年とさらに続くように頑張りようではありませんか・・・

各不惑倶楽部の皆さんこれからも熊谷不惑倶楽部を、よろしくお願いします。

## 熊惑クラブ30周年によせて

熊谷不惑倶楽部  
SO 坂西 義武



ラグビーの練習を初めて見学して、心が熱くなるのを覚え、ラグビー部に入部しました。入部しましたが、練習はきつかった、夏は顔に塩がふき、冬は強風で小石が飛んで来て足を打ち、ランパスの練習では、右も左も11秒の走力の部員、私は何時も全力疾走、毎日の練習が苦しい事ばかりのなかで、第12回国体にSOで出場した事が良い思い出になりました。

苦しいラグビーは、絶対にやりたくない決めていましたが、42歳の時、熊谷に戻り同級生に誘われて、熊惑にお世話になり、早いもので25年が経ちました。

ラグビーを通じて、人生の勉強を教えていただいた、森先生、先輩、同僚に感謝しつつ、黄色パンツを目指して、ラグビー人生を送りたいと思います





# 判断と実行

熊谷不惑倶楽部  
SO 渡邊 義文



どんな仕事でも、お互い仕事をやるからには判断が先立つ、判断を誤れば、せっかくの労も実を結ばないことになる。

しかし、神様ではないのだから、先の先まで見通して、隅から隅まで見極めて、万が一にも誤りのない100パーセント正しい判断なんて、まずできるものではない。できればそれに越したことはないけれど、100パーセントは望めない。それは神様だけがなし得ること。お互い人間としては、せいぜいが60パーセントというところ、60パーセントの見通しと確信ができたならば、その判断はおおむね妥当と見るべきである。

そのあとは、勇気である。実行力である。

いかに適確な判断をしても、それを成し遂げる勇気と実行力がなかったら、その判断は何の意味も持たない。勇気と実行力が、60パーセント判断で、100パーセントの確実な成果を生み出してゆくのである。

60パーセントでもよいから、お互いに、謙虚に真剣に判断し、それを100パーセントにする果敢な勇気と実行力とを持ち続けてゆきたいものである。

## 熊惑クラブ設立30周年に思う

熊谷不惑倶楽部  
FW 竹田 勝



設立30周年誠におめでとうございます。

私も熊惑クラブにお世話になって、早くも24年が過ぎました  
高校1年の時からラグビーというスポーツにたずさわって、半分以上のラグビー歴を過ごしたわけになりますが、赤パンになってから、ようやく人間的にも丸みが出てきたかと思うのと同時にそれ以上に最近のプレーは丸みを増幅中で太りすぎの感があります

クラブチームの良さ、数々の人間人生模様を垣間見て過ごした24年間ではありますが自分にとっては大変大きな影響があり、ファクターであったと思っております。  
グラウンドでの話題も、当時のプレー、仕事、酒、女 etc から最近では、孫、健康、年金、等々寂しい限りですが、.....。

今後の50年、100年の礎となるべく、これからもどれだけ貢献できるか、切磋琢磨して参りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



# マレーシア駐在記

熊谷不惑倶楽部  
フランカー 速水 國基



熊惑に入って20年になります。

その4,5年前から息子が、ラグビースクールでお世話になり熊惑との関わりは24,5年となります。毎週、荒川のグラウンドで汗を流し、心身ともリラックスさせて頂き本当に感謝しております。昨年1月まで約7年マレーシアに赴任しておりました。マレーシアの首都クアラルンプールは、北緯3度、1年中25以上の常夏ですが日本の夏と比べると湿気が少なく快適に過ごせました。マレーシアは以前ジャバ領時代があったので、今でもジャバ風の影響が残っておりラグビーも行われております。赴任当初地元のラグビーチーム（ロイヤルランゴールクラブ：英連邦時代からのクラブ）に入れてもらい練習させてもらいました。このチームは、首都のラグビーチームの1部リーグに所属しジャバ、フランス、ニュージーランド、オーストラリア人、及び地元マレー人の30代くらいが主力で50代の私はただ練習に参加するのみでしたが、ラグビーチームのよい雰囲気（レストラン付の大きなラグビーハウスとテニス、クリケットなども行えるグラウンドを持ち、試合後はラグビーハウスでアフターファンクションを行い皆で飲んだり歌ったり）があり非常に楽しい経験でした。その後ゴルフ場などで知り合った日本人でチームを作ることになり、Kuala Lumpur Japanese Rugby Football Club を立ち上げました。

第一回の練習で、タッチフットを行い若手が、アキレス腱を切り、第二回目の練習のランパスで50代の方がボールをとりそこない肩から倒れて肩甲骨を折ってしまい散々なスタートでした。設立当初は、50代の年配もいたのですが、その内50以上は、2名（ちなみにもう一人は不惑にいらっしゃった小島さんの息子さんで1歳上でした）となり私の下は40代前半となってしまいました。私が帰国する頃は10代の高校生を含め平均30代前半となっていました。アジア各地に日本人駐在員のラグビーチーム（香港、中国、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア）があり、年に一回持ち回りでラグビー大会を開いております。我々も最初は頭数が足りずタイのチームに入れてもらい合同で試合に参加しておりましたが、2003年の大会は、マレーシアで行い見事優勝しました。（なおこの大会、香港で行なった時香港チームに三洋電機の宮本（現監督）や堀越（弟）なども出ていました。）定年を迎え昨年帰国し、熊惑に復帰し1年たちようやく体調も絶好調！赤パン2年目今後黄パンめざし、よろしくお祈りいたします。

# 熊惑・ラグビーに感謝

熊谷不惑倶楽部  
フランカー 本村 朝博



熊惑30周年おめでとうございます。

熊惑のメンバーとして活動出来ていることに感謝します。

ラグビーは、熊谷商工高入学時先輩に勧められ入部しました。練習は厳しく、ランパスが特に苦しい練習でした。風邪の時、森先生に練習を休まして欲しいと言ったのですが、森先生よりグラウンドを走ってこいと言われ走り、気がついた時には最後まで練習を消化しました。森先生とチームメイトのお陰で2年・3年と花園の全国大会に出場出来たことは良い思い出です。森先生とは、今でも後輩の試合や熊谷Aグラウンドでの有料試合観戦時に同席させて頂いています。

熊谷商工高卒業後は、山一証券にてラグビーを続け、22才で熊谷へ戻り熊谷クラブに参加しました。30才が過ぎて試合に出る機会が少なくなり、スクールの村田さんの誘いで少年スクールの指導をするようになりました。少年スクール指導時、現ジャパンの強化委員長勝田さんが中学校時に、作新学園との試合に勝つこと前提でマルコウにてカツドンをご馳走すること約束し、見事に作新学園に勝利し、カツドンをご馳走したことが楽しい思い出です。35～40才の間は、仕事の関係で、名古屋にて女子ソフトのコーチを経験しました。40才になり熊惑に入部させてもらい各地の不惑チームとの交流試合や2度のオーストラリア遠征等で楽しく不惑ラグビーを満喫させていただいています。三洋OB戦時、元全日本のノホムリさんが、相手として出場し大きいのにはビックリし、試合で直接自分に向かってこられた時は、気持ちと反対の方向へ足が動き出してしまい、いつも懇親会時には、酒のつまみにされていますが楽しい出来事でした。

息子は、兄がオーバーザトップで主将・弟がRFC熊谷で副主務をしてくれていることは、嬉しい限りです。5才の孫もラグビーをしてくれること願っているところです。

熊惑のお陰で、日曜日にはチームメイトや対戦相手の皆様とラグビー以外の話で楽しく談笑が出来ること、本当に良い気休めとともに明日の活力となってきました。

昨年60才になりましたが、黄・紫パンツ穿くことを目指して更にトライ数を増やし、チームメイトや対戦相手の皆様と交流を深めていく所存ですので今後も宜しく御願います。

## 今年から赤パンツの仲間入り

熊谷不惑倶楽部  
SH 篠崎 正夫



私がラグビーを始めたのは、昭和36年3月からでした。

当時の熊谷商工高等学校へ部活の見学に行ったとき、森喜雄先生と出会い、勧められるまま入学式前の春合宿に参加したのがラグビーを始めるきっかけとなりました。群馬県大泉町の小さな旅館に泊って、三洋電機のグラウンドで、わけもわからず、無我夢中で走りました。あれから45年、今でも熊谷不惑クラブでラグビーを楽しんでおります。

熊谷不惑クラブは、今年創立30周年の記念の年です。期せずして私は今年還暦を迎え赤パンツの仲間入りをしました。この春には、埼玉県警を無事定年退職することができました。私にとって、今年は人生節目の年であるわけです。

40代の白パンツのころは、赤パンツの大先輩を見ながら、私も赤パンツが穿けるまでラグビーがしたいと目標にしていたのですが、あっという間にその年になり、これからは、黄色パンツが穿けるように日々精進したいと思います。

熊谷不惑の皆さん、また、武惑、不惑、群惑、神惑、房惑、栃惑、桃惑、魚津不惑、新潟不惑、仙台不惑の皆様これからもともによろしくお願い致します。

それから、同期の本村君、君とは、女房よりも付き合いが長い。これからも腐れ縁が続くが、懇親会を盛り上げるには君は不可欠だ。お互いに頑張ろう。



## 熊惑創部30周年によせて

熊谷不惑倶楽部 顧問医師  
BK 桜井 剛太郎



熊惑創部30周年おめでとうございます。創部期よりのメンバーは古希を迎える年令となる計算です。私など町医師の付き合っている70才はほとんど年寄りばかりですが、グラウンドに出ると元気な親父ばかりでびっくりしてしまいます。

昨年は、2人の仲間を失いました。前キャプテン瀬浩壽氏、自衛隊時代の飛行機乗り、また宴会部長としての数々の逸話、一緒にゴルフをした思い出、もう一人は現役バリバリの警察官 小嶋茂樹氏 一番練習熱心であぶらの乗りきったところだったのに残念でなりません。御冥福をお祈りいたします。

私も入部15年となりました。思いおこしてみると県営熊谷ラグビー場建設のための準備委員の一人として熊谷に通い出した頃、メンバーから誘われそれまで在籍した武惑からの転入生として迎え入れていただきました。最初の2年位は医者だという事もあり大事に扱われていたようで、試合も半分位しか出してもらえませんでした。徐々に春日部の飲兵衛として認められ、一兵卒として扱ってもらえるようになったようです。私が入る前は、飯田潔というアニマルドクターが選手の管理をしておりました。(まあ、動物用の薬剤でも十分に用をたしているようでした。)

ラグビー外傷としては、重症事故はありませんでしたが、この10年で3名のアキレス腱断裂を手術しました。1人目は大野義友(柔道整体師、柔道5段、ロック)受傷機点はメンバー御存じの通りで、紙面では語りませんが、我が診療所に連れて帰り、局所麻酔下に即日手術、ギブスを巻いて自宅に帰す(かなり荒っぽい)、2人目は福井孝俊(二チ口漁業、センター)菅平での関東甲信越大会で受傷、3人目は前キャプテン伴竹治(フランカー)、2人とも大野君の時と同様に私の魔のメスにかけました。でも3人とも以前にも増し元気に走っているようです。

入部時の私の目標は、赤パンツまでRugbyが出来ればよしと思っていましたが、昨年からついに赤パンツを履く事になってしまいました。持病の腰痛も左下肢のシビレへと進行し、最近練習もさぼりがち、現役もいよいよこれまでかなと、気持も萎えてきています。

最後に一言、最近の熊惑少し元気がない、特に白パンツにはもう少しがんばってもらって、昔のように他のチームから恐がられる位になってほしい。

## 座談会 熊惑倶楽部の三十年

熊谷不惑倶楽部  
F W 飯田 重雄



- A だけど、何だね、早いね、時が過ぎるのは、気が付きゃ三十年だもんね。
- B でもさ、スクラム組んでると遅いよ、時が過ぎるのは。ノックオンの連続で頭上げるとスクラムまたスクラム、時間が止まる、毛が抜ける、心臓も止まる。
- C アインシュタインによると、光の関係で時間はとまる。らしいよ。
- B 光の関係じゃなくて、ノックオンの関係だよ。ボックスも球出るの待ってる時は、おせーなって思ってるんだろうな。俺らも出そう、出そうとしてるんだけど、ジャマが入ってうまくいかねーんだよ。こののろまとかグズとか思ってイライラなんだろうな。
- A そういえば、昔「フォワード土方論争」てのがあったよね。
- C 今日びそれは差別用語じゃないの。で、決着ついたんだっけ、あの激しい言い合いは？
- B つくわけねーだろ、我々はデベート(議論)を至上の喜びとする格調高いクラブチームなんだから。いたずらに結論を求めたりしないの。会話を楽しむの。襟の付いたユニフォームを着たジェントルマンなの。勝ち負けじゃないの。
- A 格調高いっていうけど、練習の後、毎週荒川の土手でビールだか何だか分んないもの飲んだり食ったり、ニワトリ捕まえたり、チャンキおけさで大騒ぎだったよな。
- C 金魚飲んだ人もいたよ。「春が来たぞー」て飛び上がってシコ踏むキャプテンもいたよ。
- B 分かってねーな。だから熊惑倶楽部は三十周年なんじゃねーか。てんでバラバラな面々が、ゴチャゴチャとゴチャ混ぜになって合体、完全に混じり合って天地創造、強大なパワーを獲得、てーわけだ。普通は上手くいかねーんだよ。反目しあうか、バランスとろうとするか、愚かなことが起こって長続きしねーんだ。ゴチャ混ぜが大事なんだな。
- A なるほど、ゴチャ混ぜのポイントは、皆がラグビーが好きだという共通の感情だな。
- B そうだよ皆好きなんだよ、ラグビーが。だって考えてみなよ、熊谷は日本で一番暑い土地なんだぜ。そんな夏の日曜日は、白麻のスーツでマティーニのグラスの滴に映るおねーさんに、「外は暑そうだね。・・・ウフウ」てなほうが絶対有利だと思うんだけど。何がそうさせるのか？。荒川のグラウンドで、汗も枯れ、顔に塩の生ミイラ状態で走ってるおじさん軍団見た人は、ホントにすきねーて思うだろうよ。
- C 冬だってそうだよ。寒風赤城おろしの中、いい年して鼻水たらして走ることはないよ。
- A 熱燗、湯豆腐、炬燵の向こうのおねーさんに、「外は寒そうだね。・・・ウフウ」がいいよな。だけど、それを乗り越える灼熱の情熱は一体どこから生まれてくるのかね。
- B まぁー適当な相手がいねーこともあるし、やることねーこともあるけど、敢えて前向きに考えるとやっぱりラグビーが一番好きなんだよ。わざわざ考えるまでもねーのよ。
- A そうなると、好きだという感情が進化して、もはや強固な意志となってる訳だ。
- C ヘーゲルによると、歴史を貫徹する意志が世界を動かす。らしいよ。
- B 難しいこというなよ、それより本気で白パン探さねーと、四十周年はあぶねーぞ。
- A ほんとだよ、このままだと、熊谷古希倶楽部になっちゃう恐れありだ。

## 楯円の輪

熊谷不惑倶楽部  
C T B 菊池 健



30年前、私は結婚して1年が過ぎ東京の府中に住んでいました。この年、長男が生まれました。私は、未だこの時点では熊惑クラブには参加していませんでした。既に、高校時代の同輩のメンバーは何人が荒川グラウンドで練習に参加していたようでした。それから数年後に私も熊惑クラブに参加したように記憶しています。以来熊惑クラブに加わって楽しいラグビーを堪能しています。

不惑・群惑・房惑・神惑・武惑・魚津不惑・仙台ゆうわく、さらに不惑大会等で対戦した各地のチーム、ラグビーを通じた強い絆を感じています。

今から41年前、高校の入学式が行われた体育館玄関前で、雨の中をラグビージャージを着た一団が傘もささずにグラウンドに向かって走って行った場面を私は鮮明に記憶しています。この場面に遭遇したことが私のラグビーの原点となりました。既に57歳となった私の過半はラグビーが生活の一部となっています。

昨年4月、私は秋田に転勤しました。早速、秋田市役所で住民登録をした足で秋田不惑の連絡先を聞いて連絡をとり、4月2週目から練習に加わることとなりました。それから1年を経過、既に秋田不惑のチームメイトともすっかりうち解けて楽しんでいます。ラグビーは素晴らしい！

団塊世代の高齢化、さらに少子化とも相まって、最近の日本では高齢者を対象にした種々の対応・商戦が多く見られるようになってきました。しかし、熊谷不惑は既に30年も前から高齢者のための生涯スポーツを楽しみ育んできました。熊惑の先輩諸氏のおかげで私たちが今もこのようにラグビーを通じて心身共充実した人生を楽しみ、ラグビーを通じて多くの友人と交流ができます。

最近になって、小嶋さんが群惑との試合中に急死され、鎌田会長、一ノ瀬先輩が他界されました。かつての先輩の幾人かの顔もグラウンドで見られなくなってきました。30年の年輪を実感するものです。

引き続き、ラグビーを通じて大きな楯円の輪が世代を越え、地域を越えてますます発展することを祈ります。



## 熊谷不惑倶楽部創立30周年によせて

熊谷不惑倶楽部 主務  
WTB 中村 孝



「熊惑(ゆうわく)倶楽部」も早30歳!! 私も入部して15年になろうとしています。娘と息子がラグビースクールにお世話になり、その先生が「熊惑」のメンバーという事で(ついでに親父も面倒を見て頂きました)今日に至っています。

その息子がこの春就職をしました。スクールから中学、高校、大学と17年間ラグビーを続けて来られたのは、「熊惑」に巡り合ったからであり、私自身15年間楽しんで来られたのも、まさに「熊惑」であったからと、親子共々感謝をしております。

熊惑での15年間はあっという間で、楽しい思い出ばかりです。・・・ラグビースクールの塩沢の民宿「長兵衛」での合宿は、毎年夏の楽しみでした。練習の後の丸ナスの漬物とビール、そして「こしひかり」の何と美味しかった事か!!

また夏の締めくくりにとゴムボートでの荒川の川下り。およそ5kmの距離を水が少なく、半分以上子供たちが乗ったボートを持って川の中を歩き、30分の予定が4時間以上掛かった地獄の川下り。・・・秋田遠征でのKさんの座席騒動と試合での自分の骨折。・・・夏の練習の後、グラウンドでの千円会費での一杯。ビールにコロッケ、豆腐に納豆、チーズにキムチ。夕方まで談笑し、日頃のストレスなんぞ吹っ飛んだものでした。

しかし最近では、悲しい出来事もありました。一昨年の10月30日、群惑さんとの交流試合中に突然倒れ、帰らぬ人となった小嶋さん。熊惑の中でも一番熱心なラグーマンでした。倒れてすぐ人工呼吸と心臓マッサージで、最善の処置をして頂いた群惑さんには御礼の言葉もございません。

また昨年は長年名誉会長として見守って頂いた鎌田名誉会長が3月2日に92歳で亡くなりました。90歳の時、「熊惑のジャージを着て散歩するんだ」とラグビージャージを希望され、熊惑からは卒寿のお祝いにと散歩用の「帽子とベスト」をプレゼントしました。心からラグビーを、そして熊惑を愛されていました。告別式でも熊惑でのスナップ写真が式場の入口に展示されていました。

そして5月25日には長年名物キャプテンとして熊惑の歴史を作ってきた「イチちゃん」こと一瀬元キャプテンが亡くなりました。「四万温泉ツアー」で初めて目の当たりにした「春が来たよ~!!」は、ある種の感動を覚えたものでした。またオーストラリア遠征で、行きのJAL機のコックピットを見学させて貰ったり、ブリスベンのホテルでの「どんちゃん騒ぎ」も鮮明に記憶に残っています。

いろいろな事がありましたが、これからも「熊惑」の良いところを継承し、40周年、50周年と引き継いで行く必要があります。いつも楽しく遊んで頂いている各不惑の皆様、これからもよろしくお願い致します。荒川グラウンドでトン汁を用意してお待ち申し上げております。

# ラグビーとの出会いと不惑ラグビー

熊谷不惑倶楽部  
左プロップ 島川 隆



18才で社会人となり、会社の先輩に勧められラグビーを始めました。他のスポーツでは結果の出せなかった自分としては、ヤレルのではないかと思えた初めての競技でした。企業内の趣味のスポーツなので選手もいず、練習参加者の少ない中での活動でしたが、試合に出られるということで楽しくなり、それ以来30数年ラグビーを続けています。職場が変わってもそれなりにラグビーチームを探してプレーしてこられたのは自分にとって幸せなことと思っています。

若い頃易者さんに趣味はなんですか？と聞かれた時、【ラグビーです】と答えました。易者さんは、【ラグビーは若い人の競技で年を取ったら続けられないぞ！】と言われましたが、現在もプレーさせてもらっている状況です。

現在でもプレー出来ているのは、不惑ラグビーでは、年とともに体力が落ちるのに合わせて同年代で試合をしているためと思います。ほかのスポーツを良く知りませんが、年代別にパンツの色分けをして同じ年代で試合を楽しんでいる不惑ラグビーは、他のスポーツにない良い文化だと自分は思っています。また、不惑ラグビーでは勝敗を気にせず、参加者全員試合出場・試合後の握手・試合後のササヤカな懇親会等で親交を深める等の良いことが沢山あります。しかし、不惑ラグビーを楽しめるのも理解ある良い家族があつてのことで、自分も妻に感謝しています。

数年前に熊惑の練習を見て自由で拘束なくオーソドックスな練習から入部させていただきましたが、以来熊惑の皆さんに良くしてもらっています。

今後も微力ではありますが、熊惑のために少しでもお役にたてるよう頑張りたいと思いますので宜しく御願います。

## 熊惑のさらなる発展に向けて

熊谷不惑倶楽部 主将  
BK 田島 健



先輩諸氏が情熱及び熱意で立ち上げられた熊惑30周年を祝い申し上げます。30年間支え続けていただいた対戦不惑チームの皆様・県及び熊谷市のラグビー関係者の皆様・熊惑先輩及びチームメイトに感謝します。この記念する時期に主将を務めさせて頂くことに、責任で身の引き締まる思いであります。

私もラグビーより苦楽を経験させて頂きました。私のラグビー経歴を紹介させていただきます。中学校時代に野球少年でしたが、担任が熊谷工業高校ラグビー部の森先生の大学の同期の関係で、熊谷工業高校でラグビーをするよう勧められ入学・入部しました。入部後3ヶ月でレギュラーとなり夏の大会では、優勝しました。このため、花園の全国大会へ出場できるものと思っていました。花園への全国大会決勝は、荒川グラウンドで今チームメートの水野さんの行田工高との対戦でした。熊谷工高は、ゴール前5mで再三先輩のNO8持田さん(現三洋電機)がサイドアタックをするのですが、鉄壁の行田工高ディフェンスにゴールを割ること出来ず僅差での惜敗でした。今思えばボールを散らしていれば勝てたのにと、本当にラグビーの厳しさを痛感させられる日となり、先輩の塚田さん(熊谷工高全国制覇時の監督)などとくやし涙を流すとともに再起を誓い合いました。お陰様で2年・3年で花園の全国大会へ出場することで、2年生ではFBとして1回戦で新田高・3年生ではCTBで花園高1トライ差での敗戦でした。3年生時に高校全日本に選ばれ、東西対抗に出場出来たことは本当に嬉しい経験でした。その後、法大に進学しラグビーを続けましたが、両肩骨折でラグビーを止めましたが、24才でラグビーの虫が騒ぎ出し熊谷クラブへ入部させていただきました。

熊惑へは、35才から参加させてもらいました。熊惑では、今まで勝つラグビーから楽しむラグビーを経験させていただいています。熊惑の魅力は、不惑の年代から古希の年代が現役プレイヤーとしてプレーを楽しんでいること 色々な職種の人達と情報交換出来ること 交流試合後は、懇親会で対戦チームと交友を深めている等の良いことが沢山あります。

今後は、生涯スポーツとしてラグビーを実践している熊惑の魅力を、多くの不惑ラグーマンへ紹介し、一緒に心地よい汗を流せる環境を維持していきたいと思っています。

今後も熊惑の更なる発展のため、対戦不惑チームの皆様・県及び熊谷市のラグビー関係者の皆様・熊惑の先輩・熊惑メンバーの皆様宜しく御願います。

# 思い出のスナップ



2006.4.23 对 不惑 (荒川)



2006.4.16 对 房惑 (松戸)



2006.3.19 对 神惑 (荒川)



2005.12.11 对 武惑 (荒川)



2005.11.27 対 房惑(荒川)



2005.11.13 対 仙台ゆうわく(荒川)



2005.10.30 対 群惑



2005.10.16 対 神惑(荒川)





2005.9.24 関東甲信不惑大会（群馬）



練習合間のほっと一息（2005）



2005.7.2-3 全国不惑大会（菅平）





2005.6.19 対 栃木不惑 (栃木)



2005.5.1 対 魚津不惑 (熊谷)



2005.2.6 総会



懇親





2004.11.23 対 仙台ゆうわく (宮城県サッカー場)



2004.9.19 関東甲信不惑大会（栃木）



2004.7.4 全国不惑大会（菅平）



2003.9.28 関東甲信不惑大会（新潟）



2003.9.14 埼玉レディースと



2003.5.18 熊谷ラグビーフェスティバル





2003.5.25 対 日立OB



2003.1.26 人間基地



2002.11.3 川越市民大会



2000.1 初練習



1997.9 関東甲信越大会 (菅平)





熊谷不惑倶楽部創立30周年記念祝賀会

頑張って  
マス!!

カッコいい  
トライを決めたい!  
熊谷不惑倶楽部が  
創立30周年  
(熊谷市)

公務員や大工、建設業、医師……。職業は様々だが、「ラグビーが大好き」なお父さんたちのラグビーチーム「熊谷不惑倶楽部（吉田嘉高会長）」が、このほど創立30周年を迎えた。

はじめは、子も連にラグビーの楽しさを教えようと思ったラグビースター。「教えるだけでなく、自らラグビーをしよう」、年齢なんて関係ない。昭和51年5月、倶楽部発足。だんだんと仲間が増えた。「経験者でない方もいるんですけど」と、吉田会長。お父さんのスクールがきっかけで始めたメンバーもいる。「好きで集まった仲間だから。これからも10年、20年と、若い人たちが楽しめる場を作り続けたいね」と、今後の抱負を語る。

記念式典には県内外の不惑倶楽部のほか、埼玉県ラグビー協会会長の富岡清康、谷市長も出席。豊田の言葉が増られた。記念試合では群馬、魚津のチームと対戦。「本場に40歳以上」と思うお父さん、メンバーの皆さんは笑う、それくらい、よく走り、よくぶつかりあう。試合後の笑顔もさわやかだ。

カッコいい「トライ」を決めたい。お父さんラグビーマンたちは今日も走る。



まだまだ現役です（赤いジャージが熊谷不惑倶楽部）



### 元全日本チームに挑戦 地元愛好家が大健闘

#### くまがやラグビー祭り

「元全日本チーム」の活躍を自慢する熊谷市の熊惑クラブは、今年も「くまがやラグビー祭り」の開催に力を入れた。エナジー・シダの会と地元愛好家の交流が、地元愛好家の大健闘を導いた。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。

熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。

### 元ジャパンも参戦 幅広い層が交流

#### 熊谷ラグビー祭

第三回熊谷ラグビー祭は、熊谷市内の中学生から中学生、高校生、社会人までの幅広い層の選手を集めて各部門で交流大会が行われた。この大会は、「くまがやラグビー祭り」を主催する熊惑クラブが、熊谷市の実行委員会が、熊谷ラグビー祭の開催に力を入れた。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。



「元全日本チーム」の活躍を自慢する熊惑クラブは、今年も「くまがやラグビー祭り」の開催に力を入れた。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。熊惑クラブは、元全日本代表選手で、熊惑クラブの顧問を務める。

熊惑クラブ-桜とシダの会 40歳以上の選手たちが、真剣な表情でラグビーを追い続けた

## 20周年の写真(1996年4月吉日撮影)

飯田(兄) 飛田 栗飯原 飯田(弟) 大野 中村 赤沼 藤原  
櫻田 金田 田中 田島 松崎 沼尻 吉田(加) 関谷  
大島 小川 渡辺 一瀬 隈部 本村 伴 篠崎 敬称略



## 歴史を語る写真







# 愉快的熊惑クラブメンバー





## 黄パン



田口 中 (名誉会員)  
1936/1/10



新保 雅司  
1936/10/29 WTB/FB  
走り込んで毎日曜日の練習に  
参加するよう努力します。



隈部 基雄  
1937/2/16  
たかがラグビー  
されどラグビー



秋元 永三 (名誉会員)  
1937/10/1  
いつまでも熊惑ガンバレ  
死ぬまでラグビー愛する  
永ちゃんです。



## 赤パン



吉田 嘉高 (会長)  
1938/1/3 HO  
多くの仲間たちの参加に  
感謝申し上げます。



坂西 義武 (会計監査)  
1939/5/21 SO/CTB/FB  
黄色パンツ目指して  
がんばります



大島 友孝 (副会長)  
1939/8/5 LO/FL/No8  
紫パンツ目標に  
頑張るぞ!



桜田 健次郎 (副会長)  
1939/8/5 WTB/FB  
まだまだ走るぞ!



小川 王一  
1941/2/20 LO



渡辺 義文  
1943/8/17 SO/CTB  
常に気力で頑張る!



奈良 昭男  
1943/8/29 FL  
黄パンツめざし  
ハッスルします。



竹田 勝  
1944/5/23 FL/No8  
加齢と共に華麗な  
プレーを目指して



速水 国基  
1945/1/29 CTB/FL  
走れる黄パンめざし



本村 朝博  
1945/11/22 FL/HO/WTB  
タックルマン



篠崎 正夫  
1946/1/30 SH/WTB  
未永くよろしく願います。



桜井 剛太郎 (顧問医師)  
1946/10/27 CTB/HO  
俺にトライ任せろ。



伴 竹治  
1947/5/25 SH/FL/BK



新井 清  
1947/7/4 SO/CTB/FB  
毎週使えるグラウンドに感謝  
毎週会える仲間に感謝  
酒をうまくしてくれるラグビーに感謝

## 紺パン



高橋 正英  
1948/3/27 LO/WTB  
入部3年目 58才の新人です。  
よろしく！！



渡辺 治  
1948/5/19 BK



金田 悟  
1948/9/23 WTB



飯田 重雄  
1948/10/21 PR  
ずーっとボールと  
走っていたい！



藤原 広一  
1948/10/30 FL  
ラグビー青春



田中 博  
1948/11/27 PR/HO  
人生ほどほど  
ラグビーばっちり



屋敷 博  
練習は厳しく  
ゲームは楽しく！



根岸 重年(会計監査)  
まだまだスクラム  
押しまくるぞ！



菊池 建  
酒と肴と  
ラグビーがあれば！



沼尻 孝史  
1949/6/2 WTB  
40周年に向けて第一歩



関谷 利男(副主務)  
1949/9/7 SO/CTB  
体重100kg  
100才現役



福井 孝俊  
1951/7/9 CTB  
もっと楽しく



飯田 潔(メディカルS)  
1953/2/24 LO/FL/No8  
今年こそタックル！



飛田 修  
1953/11/28 HO/FL/BK  
今年から自分のラグビーを！



中村 孝(主務)  
1953/12/23 WTB/FB  
30周年ご苦労様でした。



島川 隆 (副主務)  
1954/4/17 PR  
トライさせてください。



赤沼 節 (副主将)  
1954/4/29 HO  
楽しんで勝つラグビーを！



田中 由夫  
1954/8/19 PR



水野 勝行  
1957/3/30 FL  
ひたむきにタックル



大野 義友 (メディカルS)  
1956/1/27 LO  
ONE FOR ALL  
ALL FOR ONE



田島 建 (主将)  
1956/6/27 FB/SO/CTB  
いつでもトライ命！！



高橋 正男  
1957/4/3 LO  
熊惑で走り続けます。



永沼 勉  
1957/5/31 LO/FL  
今期もガンバルぞ！



松井 克公 (メディカルS)  
1957/10/23 LO/PR  
押忍一徹

## 白パン



柳沢 康弘  
1958/7/27 SH



吉田 加衛司  
1958/10/17 FL  
ケガを直して全試合出場！



岡村 光章  
1958/10/23 FL/SH  
楽しんでガンバろう！



小坂 康久(副主務)  
1959/1/21 HO/PR/FL  
ノックオンはしないぞ!!



森 一浩  
1959/9/18 SH  
気持ちの良いラグビー!



手嶋 武男  
1959/09/19 CTB/SO  
まっすぐ走る



粟飯原 英治  
1959/11/17 FL/SO  
早く自由になりたい!



野口 隆之  
1959/12/5 FL  
痩せるまで走るぞ!!



亀井 邦男  
1960/1/14 PR  
心を入れ替えて頑張る!



大戸 泰明  
1960/3/15 No8  
ダイエットするぞ!



笠原 文彦(副主将)  
1960/3/21 CTB/FB  
元気一番!!



鈴木 忠雄  
1960/4/3 SH



横澤 貞光(メディカルS)  
1961/7/8 WTB  
ラストパス受付中



橋本 弘幸  
1961/8/24 FL/CTB



山口 眞司  
1962/6/25 WTB/FB/CTB  
取敢えず、無事に紺パンへ



須加 誠  
1964/3/28 FB/WTB  
昔練習やら無かった分  
熊惑で頑張る



前野 邦彦  
1964/5/25 CTB/WTB  
いつまでも  
元気で走りましょう。



山田 剛  
1965/8/13 CTB/WTB  
気合だー！！



坂本 賢司  
1965/8/13 FL  
頑張ります。



加藤 久  
1965/5/20 FL/CTB  
ラグビー大好き！  
必殺タックル！



小幡 晃久  
1965/2/20 FL/LO  
目指すぞ、トライ！



清水 保之  
1973/8/28 FL/LO

————— 物 故 者 —————

熊谷不惑倶楽部会員でありました次の方々がお亡くなりになりました。  
謹んでご冥福をお祈り致します。

一瀬 浩壽  
小嶋 茂樹  
新井 広志

鎌田 大朔  
内田 秋作

敬称略





祝 創部30周年

熊谷不惑倶楽部 殿

魚津不惑R.F.C 会長 中山 良雄

祝 熊惑クラブ創立30周年

横澤接骨院

東松山市松山町1 - 13 - 16

電話:0493 - 23 - 6818

FAX:0493 - 23 - 6818



老若男女楽しめるラグビーを・・・。



埼玉レディースR.F.C  
(部員随時募集中です)

連絡先 代表：春日 千恵

祝 熊惑クラブ創立30周年

**(有)秋元商店**

住所：熊谷市本石2 - 316

電話：048 - 522 - 1436

祝 熊惑クラブ創立30周年

接骨・整骨・柔道整復

**大野整骨院**

春日部市備後東1丁目22 - 11

電話：048 - 736 - 6578

強く・楽しく・カッコ良く！》



熊谷R.F.C

(部員募集中！)

祝 熊惑クラブ創立30周年

平野モータース

営業所:熊谷市本石2 - 91

電話:048 - 524 - 1378

家畜・ペットの病気予防と治療

飯田獣医科医院

熊谷市上之1313 - 5

電話:048 - 524 - 5195

FAX:048 - 521 - 4683

省力治工具からマテハンまでの設計製造お手伝いする。

# 株式会社 キューブ

代表取締役  
水野 勝行

CUBE  
CUBE CORP

349-0034 埼玉県羽生市下川崎1022  
TEL 048-563-3218 FAX 048-563-2318  
E-mail: cube@cameo.plala.or.jp

G-grande

代表 吉田 夕香子

ジーグランデ  
G-GRANDE

〒360-0014 熊谷市星川1-38 TEL.048-525-3758  
<http://fps01.plala.or.jp/~G-grande/index.html>

各種ご宴会  
歓送迎会  
法事・慶事など  
お気軽に  
ご利用下さい



ゆうな三朝

イーフロナナセンぱん

**TEL (048) 526-7000**

熊谷市桜木町1丁目26番地  
【営業時間】昼11:00~夜12:00

祝 熊惑クラブ創立30周年

# 大地の恵みを食卓へ

埼玉県知事許可  
地方卸売市場 (株)熊谷青果市場

〒360-0023 埼玉県熊谷市佐谷田1422

TEL 048-521-6511(代)

FAX 048-521-6042

祝 熊谷不惑倶楽部30周年

赤外線から紫外線まで  
光を使うお手伝いをします。

## (有)城西技研

紫外線に関する事は何でも御相談下さい。

〒361 埼玉県行田市城西町4丁目14番32号

TEL: 048(536)9411 FAX: 048-536-7115

<http://uv-josai.co.jp/> E-Mail: [bear@uv-josai.co.jp](mailto:bear@uv-josai.co.jp)

祝 熊谷不惑倶楽部30周年

ラーメン 餃子 各種中華料理  
市役所西・箱田通り 中華の殿堂

# 上海楼

熊谷市宮町2-54 電話: 048-524-6457



祝 熊惑クラブ創立30周年

税理士は税と企業のパイロット

# 吉田会計税務事務所

代表：吉田嘉高

〒360-0014 埼玉県熊谷市箱田2丁目2番8号

電話：048 - 521 - 0334

FAX：048 - 521 - 4506

E-mail:yoshida-office@nyc.odn.ne.jp

祝 熊惑クラブ創立30周年

# 割烹 まんまる

埼玉県熊谷市新堀737-3

電話：048 - 533 - 0001

より豊かな暮らしに貢献する

アルミ建材総合販売

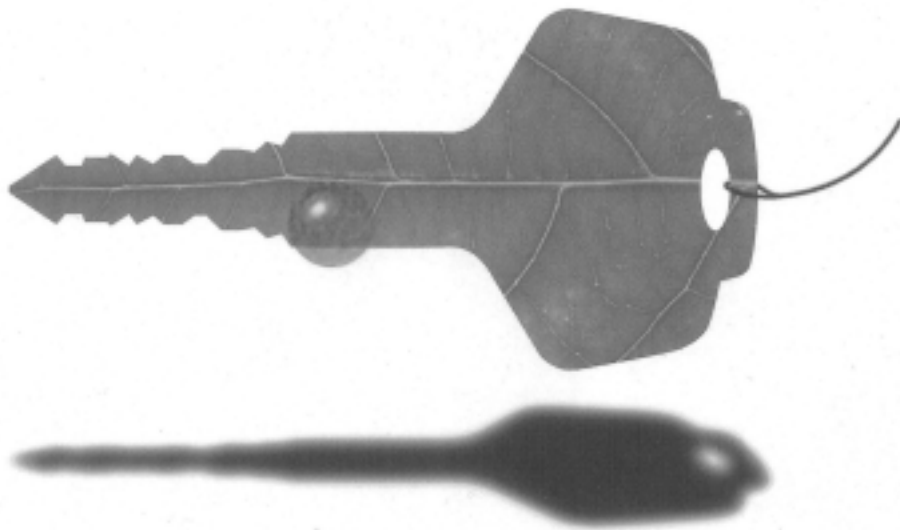
# 大戸工業株式会社

代表取締役 大戸 泰明

〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚 788-1

TEL 048-521-0183(代)

FAX 048-521-0107



熊谷産業株式会社

〒360-0161 埼玉県熊谷市大字万古3724番地の1

TEL (0485) 36-1281 (代表)

FAX (0485) 36-6615

内科・消化器内科・循環器科・外科・消化器外科・  
乳腺外科・産科・婦人科・整形外科・リウマチ科・  
リハビリテーション科・泌尿器科・放射線科・  
麻酔科・総合検診システム



医療法人藤和会

# 藤間病院

院長 菱沢 利行

TEL 048-522-0600 (代) FAX 048-525-8692  
埼玉県熊谷市末広2 - 137

整形外科一般・スポーツ

医療法人 さくら会

# 桜井整形外科

## 診療時間

月・火・水・金 9:00～12:00  
15:00～19:00  
土 9:00～12:00  
13:30～16:00

埼玉県春日部市増富 96-3  
電話 048-761-6629

地域社会の未来づくりに貢献する企業をめざして

総合建設業



# 小川工業株式会社

本社 行田市桜町 1-5-16

TEL 048-554-4111 (代)

東京支店	東京都港区新橋 5-25-3	TEL 03-6402-7580
さいたま店	さいたま市北区植竹町 1-549	TEL 048-654-7526
熊谷工場 及び営業所	熊谷市大字太井 1827	TEL 048-526-2937

■ ISO9001・14001 認証取得

## 祝！熊谷不惑倶楽部・創立30周年

県北に三店舗。ラグビー用品の事ならおまかせ・・・！  
是非お近くの各店へご来店下さい。

取り扱いブランド：カンタベリー\*セフター\*SUZUKI\*ミス/

コットン\*ギルバート\*adidas\*アシックス

幅広足型オーダースパイク・カラーオーダースパイク取り扱い中です。



HATAYA SPORTS

# 人タヤスポーツ

**深谷店**

AM10:00~PM8:00  
深谷市本庄町7-40 電話071-0663

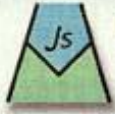
**熊谷店**

AM10:30~PM8:00  
熊谷市東町2-11(旧豊原町口) 電話FAX033-2513

**妻沼店**

AM10:30~PM8:00  
妻沼市妻沼4-1-1(マックスビル) 電話FAX027-5554





株式会社 人財ソリューション

株式会社 人財ソリューションは、半導体関連業務に特化した「人材総合サービス」を提供する会社です。

## “人は財産”

中高年の豊かな経験に裏打ちされたスキルを  
コンサルタント・請負・派遣・アドバイザー・職業紹介などの世界で再活用

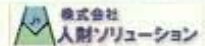
## “半導体関連業務に特化”



紹介予定派遣による若年層の就業機会を創出

求人・求職 お待ちしております。

〒110-0015  
東京都台東区東上野3丁目24番10号 東上閣ビル3F TEL:03-3836-1080 FAX:03-3836-1081



オフィス・**G**<sup>ゲン</sup>EN株式会社  
店舗・住宅リニューアル・設計施工

本社 115-0051  
東京都北区浮間3丁目12番5 302号  
営業所 113-0033  
東京都文京区本郷2丁目13番10 3階  
TEL 03-3814-5961  
FAX 03-3814-5962

祝 熊惑クラブ創立30周年

電灯電力・自家用変電設備

電話・火災報知機

計装・光ファイバー工事

株式会社**沼尻電気**

熊谷市箱田1丁目7番15号

電話:048-522-1530

FAX:048-524-9245



+α

が生まれるオフィス空間をご提案します。



官公庁認可

建設業 東京都知事(般一12)第114821号 宅地建設取引業 東京都知事(3)第70877号  
一般貨物自動車運送事業 関自貨第1684号

業務内容

建築・リフォーム工事、造作間仕切工事、可動間仕切工事、家具什器、造作家具工事、特注家具工事  
家具メンテナンス、サイン工事、壁装仕上げ工事、カーペット工事、OAフロア工事、ブラインド・カーテン工事、  
電話・LAN工事、電気設備工事、(照明工事含)、空調設備工事、衛生設備工事、什器・備品移転工事、  
解体・廃棄工事、クリーニング工事等



株式会社アルファースペースライン

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-2-2新京橋ビル1F

TEL : 03-6280-0155 FAX : 03-6280-0158

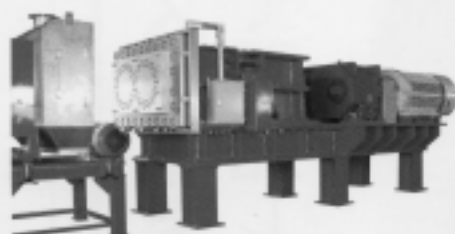
MAIL : info@alphaspaceline.jp URL : http://www.alphaspaceline.jp

# キレイな環境づくりに多大に貢献する タジリの総合再資源化技術

熱圧縮減容成形機

## ウエストポーター

プラスチックに紙屑、木屑等を混合した可燃性物質を比重1前後のソーセージ型の固形燃料(RPF)にします。保管場所及び運搬コストを大幅に削減することが出来ます。

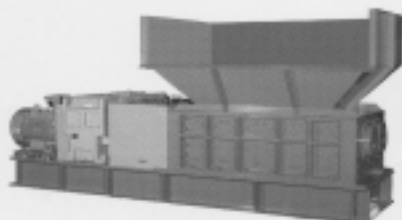


1. スクリューは6角形スクリュー軸に差込方式目付分割式の為、メンテナンスが容易です。
2. センサー搭載の安全タイプ。
3. ノズルを用途に応じてセットし、直径25~150mmの固形燃料(RPF)が出来ます。

粗大ゴミ・不燃物の強力破砕機

## ストロングクラッシャー

二軸せん断式大型破砕ローラーのせん断、圧縮、引張作用により粗大ゴミ、不燃物などを低速回転高トルクで徹底的に破砕します。万が一可燃性物質が混入しても低速回転ですので、爆発及び引火の可能性は低減します。



一輪破砕機

## バイトローター

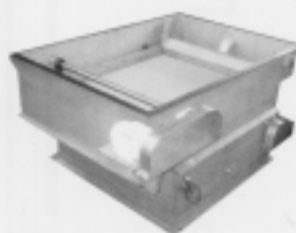
多数の破砕刃を取付けた回転体(ローター)と、のこぎり刃状に取付けた固定刃から成る一輪破砕機です。主にプラスチック、布類、木材などの硬い物から柔らかい物まで効率よく破砕します。ローター下部のスクリーンの交換により、粒度の選定が可能です。



水処理システムユニット

## TSS型振動スクリーン

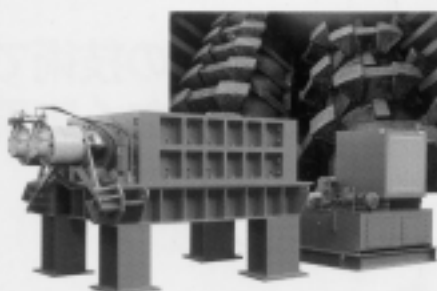
環境への配慮から、現在社会問題となっている廃水、廃液中の混入物質を分離除去する装置です。スクリーン目開きは20~200メッシュ。処理槽の負荷を低減します。



油圧式破砕機

## ウルトラクラッシャー

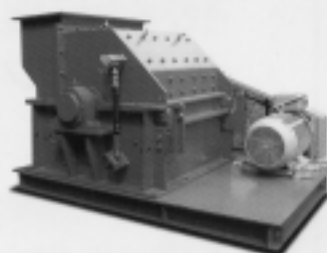
各種粗大ゴミ、木の根、タイヤ、自転車等、硬軟質多様な処理物を効率的に破砕します。破砕刃の消耗部分は、硬化肉盛溶接方式なのでランニングコストの低減に繋がります。



一輪破砕機

## ロータリーハンマー

多段に取付けられたハンマーが高速回転することによる衝撃破砕方式の為、せん断方式では困難なものでも、硬質物は瞬時に破砕します。廃家電、OA機器、硬質プラスチック、木質廃材、石膏ボードなどの一次破砕(粗破砕)に最適。スクリーンの交換により粒度の選定が出来ます。



### その他営業品目

●ホッピングスクリーン：残渣選別機

●プレスコンパクター：空缶圧縮機

固形燃料(RPF製造プラント)、地方自治体及び産業廃棄物関連施設のリサイクルプラント、  
ピン・缶リサイクルプラント



製造・発売元

株式会社 **タジリ**

〒369-1108 埼玉県深谷市田中357-1  
TEL.048-583-3525 FAX.048-583-3527  
URL <http://www.tajiri.co.jp> E-mail [info@tajiri.co.jp](mailto:info@tajiri.co.jp)

ラシヌ・サンク  
**RACINE/CINO**

**GUIDE**

- **SPACE PLANNING&DESIGN**
- **SIGN DESIGN**
- **CONSTRUCTION&CONTROL**

## 編集後記

熊谷不惑倶楽部創立30周年記念誌の原稿依頼に快くペンを執りご寄稿頂いた方々のご厚情に対し、心から感謝と御礼を申し上げます。おかげさまで無事記念誌を刊行することが出来ました。

当初、沢山の内容を盛込もうと致しましたが予算の関係もあり30年の歩みを全て盛込むことが出来ませんでした。記念誌に不備な点多々あるかとは思いますが、この記念誌を御覧頂き熊惑クラブの歴史を垣間見て頂ければ幸いです。

最後に、記念誌へ広告掲載等大変多くの皆様に資金面でのご協力を頂き感謝いたします。また、記念誌刊行にあたり多大なご尽力を賜りました関係各位の皆様に心よりお礼申し上げます。

2006年5月吉日

創立30周年記念誌委員



## 熊谷不惑倶楽部（熊惑クラブ）創立30周年記念誌

発行 熊谷不惑倶楽部（熊惑クラブ）  
会長 吉田 嘉高  
埼玉県熊谷市箱田 2-2-8 吉田会計税務事務所内  
2006年5月 吉日

印刷 株行電サービス  
埼玉県戸田市新曽南 4-3-72 048-431-0897

イラスト 熊惑 副会長 大島 友孝

# Yuwaku start to 40th anniversary of next kick off





